

和歌山県屋外広告美術協同組合

タウンミーティングで官民の連携強化

住 所	〒641-0054 和歌山県和歌山市塩屋5丁目3-76		
電話番号	073-447-0360	U R L	https://wakohbi.jimdo.com/
設 立	昭和36年6月	主 な 業 種	看板製作、屋外広告取扱業
組合員数	36人	出 資 金	1,494千円

■背景・目的

タウンミーティングとは、当初は国土交通省を中心に全国各地で開催の機運が高まったもので、立ち上がりまちの景観を美しく維持することを主な目的と捉えていたが、札幌での屋外広告落下事件を受けてまちの安全性を担保すること、官公庁との関係強化、組合員の資質向上等の課題解決も目的に加わり、和歌山県においても当組合が受け皿となって4年前から「和歌山タウンミーティング」を実現し、その後も年に一度の開催を継続している。

■取組みの手法と内容

「和歌山タウンミーティング」は、広告景観委員会を中心に理事会や委員会を巻き込みながら運営している。内容としては、大学教授等の学識者らによる講義、参加者らによるまち歩き、グループディスカッションをするというもの。参加者は組合員と県や市町村の屋外広告関係部課からなり総勢40名程になっている。これまでに、高度成長期には活況を呈した地元商店街の「ぶらくり丁」、日本遺産に登録されたばかりの「和歌の浦」、景観まちづくり刷新事業の対象となり再開発が進む紀伊田辺駅周辺など、その時々で地域のトピックとなっているエリアにて開催している。

平成30年の対象地域となった田辺市では、まち歩きとして実際に街にある看板等を参加者が点検しながら見てまわり、その結果をもとに、観光地等における周辺景観と調和した屋外広告物(サイン)の在り方について、グループ毎のディスカッションを実施。まとめを発表して意見を共有し、講評し合った。行政や組合員らの参加者が共に行動し、自由で率直な意見交換を交え問題の解決方法を考えるという良質な交流や学びを提供する場となっている。

今後も、組合員と行政の両方からの参加者を増やしつつ、事業の開催を継続していきたいと考えている。

■成果とその要因

タウンミーティング開催により行政と組合とのコミュニケーションが円滑化したことで、行政がガイドラインを策定する際などにも、組合に対して事前に相談を持ち掛けられるようになり、担当県職員が「公共サイン美術展」等の組合関連行事に出席するなど、相互の関係性が深まっている。今後より一層の信頼関係を築きながら、組合として更に活発な共同受注ができるような状態をめざすとしている。



まち歩きで確認した看板や法制度等についてグループディスカッションを行い、出た意見等を取りまとめ発表を行う



【事業・活動 実現のキーファクター】景観や安全という地域課題に、産官学が一堂に率直に意見交換できる場「タウンミーティング」を定例化したことが、お互いの信頼関係と今後の協働への可能性を生み出した。